

令和3年度

志木市立志木第四小学校 学校経営方針



学校教育目標

- | | |
|-----------|-----------------|
| ○よく考える子 | (知) 自分で考える力 |
| ○思いやりのある子 | (徳) 他者と助け合う品性 |
| ○やりぬく子 | (徳) あきらめない粘り強さ |
| ○元気な子 | (体) 活力あふれるはつらつさ |

目指す児童像・学校像・教師像

(1) 目指す児童像

→主体的に取り組み、多様な価値観を認めながら他者とともに助け合い、困難を乗り越える心身ともにたくましい活力ある児童を育成する。

→そのために（実現のための行動指針）

- ①自ら進んで、あいさつする（会釈）
- ②相手の目を見て、話をしっかり聞く
- ③生活の「さ・し・す・せ・そ」から凡事徹底する
さわやかな あいさつ
しずかな ろうか歩行
すばやい 行動
せっせと そうじ
そろった げたばこ
- ④学びの「さ・し・す・せ・そ」で粘り強く学習に取り組む
さがす（疑問の目をもつ）
しらべる（なぜだろう）
すじ道を立てて考える
せいりする（必要な情報だけ集める）
そうかつする（まとめて振り返る）
- ⑤自分の課題や問題に向き合い、あきらめずに解決しようとする
- ⑥自分も相手も大切にし、生活や学習の場面で助け合う
- ⑦いじめを「しない・させない・許さない」強い意志をもつ
- ⑧基本的な生活習慣を身に付ける

- ⑨自分を律し、健康で安全な生活を送る
- ⑩よく遊び、進んで体を動かし、たくましい体をつくる

(2)目指す児童像

「今日が楽しく 明日が待ち遠しいと思える学校」
～地域とともに輝く瞳 笑顔あふれる志木四小～

- 多様なニーズに対応し、学力の伸長に努める学校
- 創意と活力ある教育活動を展開する学校
- 豊かな人間性の育成を推進する学校
- 穏やかで、粘り強く学びに向かう力を育成する学校
- はつらつと活動し、健やかな体を育成する学校
- 児童・保護者・地域が協働できる学校（楽校協育）

(3)目指す教師像

- 「あいさつ」「笑顔」を率先垂範する教師
- 児童に寄り添い、よさを認めて伸ばす教師
- 新しい発想を積極的に発案し、挑戦しようとする教師
- 組織の一員としての自覚をもち、同僚性を構築する教師
- 児童・保護者・地域・同僚から頼りにされる教師
 - 教育公務員としての使命を自覚し、信頼関係を基盤に教えるべきことはしっかりと教え、学ぶべきことは根気強く学ばせる教師
 - そのために（実現のための行動指針）
 - ①児童、同僚、外来者に進んであいさつする
 - ②授業開始、授業終了の時刻を守り、授業中のアイコンタクトを重視する
 - ③「主体的・対話的で深い学び」の推進、PBL（Project Based Learning）を意識した授業改善を行う
 - ④子供の多様性を認め、個を生かし、伸ばし、個に応じた対応をする
 - ⑤「凡事徹底」し、生徒指導や保護者対応には迅速且つ丁寧な初期対応を実践する
 - ⑥学校教育目標に向け、自律自走（やるべきこと、やりたいこと、やれることを見極め自ら考えて実践）する
 - ⑦ねらいとまとめを明確にし、振り返りのある授業を実践する
 - ⑧互いの授業を見合い、よさを認め合い、学び合う
 - ⑨締切りの先の仕事を想像して、早めの業務遂行を心がける
 - ⑩保護者からの相談には「まずは聞く」に徹する

学校経営の基本方針

児童一人一人が生き生きと活動し、知・徳・体をバランスよく確実に伸ばすことができる、子供の最善の利益を考え実践する学校づくりへの不断の改革を目指す

- (1) 学校教育目標の具現化に向けて、前年度の踏襲に陥ることなく、学習指導要領を基盤とした教育課程を実施する。**基礎的・基本的な学力の定着、ICT機器の活用、「主体的・対話的で深い学び」やPBL型授業による授業改善、カリキュラム・マネジメントに基づく授業改革(教科横断的な教育活動の導入)、SDGs(持続可能な開発目標)の視点を生かした総合的な学習の時間など、創意と活力ある教育活動を展開し、新たな学びに果敢に挑戦する。**
- (2) **授業規律の徹底、あいさつと返事の励行、しっかり話を聞くこと、「チャイムで始まり、チャイムで終わる」授業など、「時を守り、場を清め、礼を正す」行動を習慣化し、当たり前前のが当たり前前のできる風土を学校全体に根付かせる。**
- (3) **「いじめ見逃し0」を徹底する。**いじめを発見した場合は、どんなに小さなことでも、それぞれの児童に寄り添いながら迅速且つ丁寧に初期対応し、報・連・相・確を確実に行う。組織で対応し、自分の学級や学年ではない事案でも他人事とせず、共通理解を図り、自分の学級、学年だったらどうするかを考える。
- (4) コミュニティ・スクールとして、保護者・地域住民等の学校運営への参画や学校運営への支援・協力を促進することにより、学校・保護者・地域の信頼関係を深め、学校運営の改善や児童の健全育成に取り組む。学校運営協議会は熟議スタイルとし、コロナ禍でもできる地域連携に積極的に取り組む。
- (5) 児童・保護者・地域から信頼される学校職員であるために、**積極的な生徒指導と児童・保護者に寄り添った充実した教育相談**を行う。事故防止の徹底・学校マナーアップ・教育公務員としての自覚と資質の向上に取り組み、働き方改革を推進する。
- (6) 積極的に情報を発信するとともに、PTA活動や学校応援団をはじめ、近隣の小学校・幼保・中学校・関係諸機関との連携を強化し、児童の健全育成に取り組む。
- (7) 安心・安全な学校の実現のために、教育環境の点検・整備、防災教育の充実(自助・共助・公助)、児童の危険予知・回避能力の育成に取り組む。また、養護教諭を中心に、全教職員が落ち着いて応急手当ができるようにする。

